

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	⑥	入居者に対し身体拘束ならびに虐待をしないケアの継続	高齢者虐待防止関連法に係る基礎知識を再確認し実践する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者虐待防止法の定義を定期的に学ぶ機会を確保する</li> <li>・ 職員へ虐待等の自己チェックやストレスチェック等の定期実施</li> <li>・ 認知症介護を学ぶ機会を定期的に設け、認知症ケア対応力の向上を図る</li> <li>・ 高齢者虐待防止ならびに身体拘束に係る必要研修会の定期実施</li> </ul>	12ヶ月
2	⑩	職員が不安を抱えることなく仕事ができる	働きやすい職場環境づくりに努める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職場規律の遵守ならびに職員の健康と明るい職場づくりに努める</li> <li>・ 職員会議の定期開催と業務内容の見直しについて議論する機会を設ける</li> <li>・ 事業所内で解決できない問題等は上層会議に提案し解決に向け議論する</li> <li>・ 介護人材の確保や介護現場の革新への対応、管理者の必要研修の受講等</li> </ul>	12ヶ月
3	② ③ ④ ⑤	本当に信頼される事業所とは何か	入居者家族や地域住民、行政等との関りの中で、事業所として、職員としての役割を認識していく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入居者家族との定期的な連絡等、良好な関係性の構築</li> <li>・ 行事や交流会、法人主催の研修会や講演会の開催など地域に触れる機会の確保</li> <li>・ 行政との報連相を緊密にし風通しの良い風土作りと問題の抱え込みの解消</li> <li>・ 運営推進会議の活用や介護サービスに係る情報の共有化と守秘義務の徹底</li> </ul>	12ヶ月
4	⑳ ㉑	感染症や災害等への対応力の強化	感染症や災害が発生した場合であっても、入居者に必要なサービスが安定的かつ継続的に提供される体制を構築する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業所の業務継続計画に基づき、普段から研修やシミュレーションを行う</li> <li>・ 適切な感染症対策の継続と医療機関との緊密な連携と連絡体制の構築</li> <li>・ 地域住民との防災訓練等の実施による地域連携、連絡体制の確保</li> <li>・ 阿仁ふくし会本部や山水荘との事業所連携や、近隣施設との協力体制の構築</li> <li>・ 職員のメンタルヘルス対応への適切な措置等、労働環境に係る安全面の確保</li> </ul>	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。